

経営比較分析表（令和6年度決算）

和歌山県 田辺市

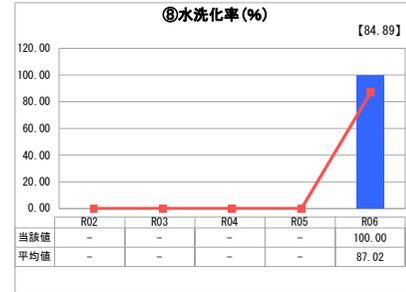
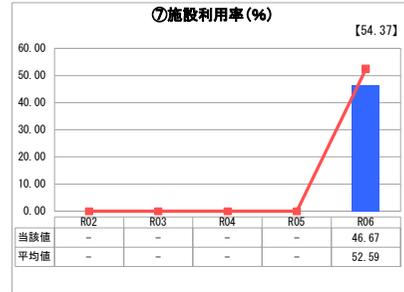
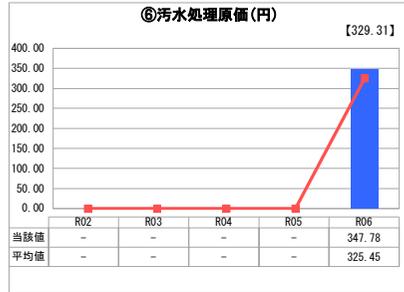
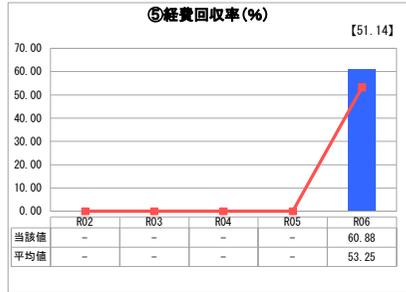
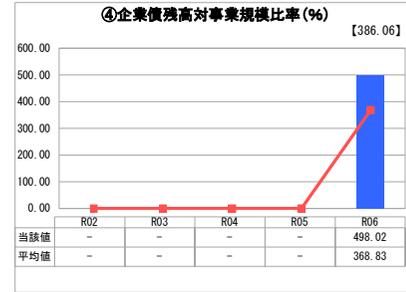
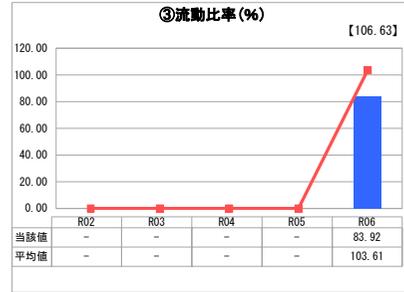
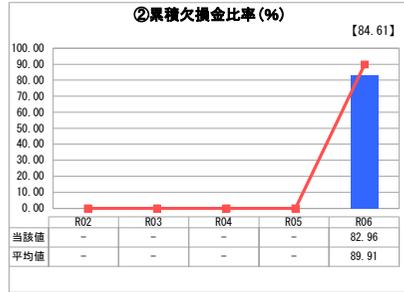
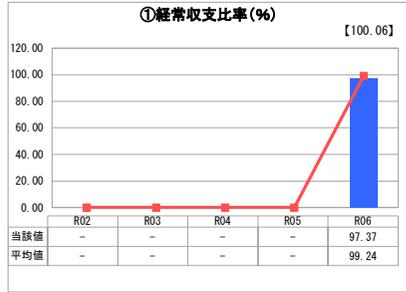
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	特定地域生活排水処理	K2	非設置
資金不足比率 (%)	自己資本構成比率 (%)	普及率 (%)	有収率 (%)	1か月20m ³ 当たり家産料金 (円)
-	42.78	0.30	100.00	3,850

人口 (人)	面積 (km ²)	人口密度 (人/km ²)
67,316	1,026.89	65.55
処理区域内人口 (人)	処理区域面積 (km ²)	処理区域内人口密度 (人/km ²)
203	25.25	8.04

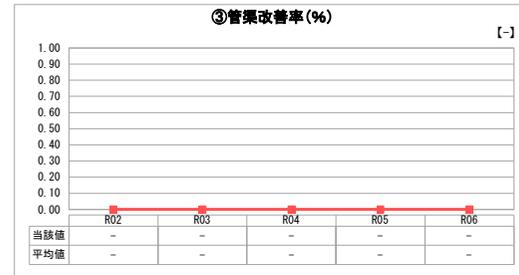
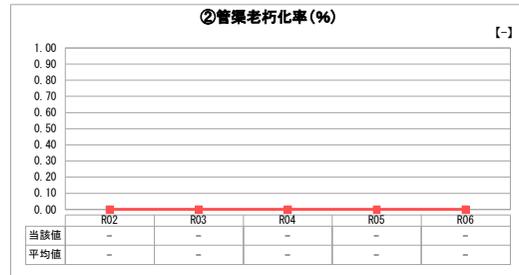
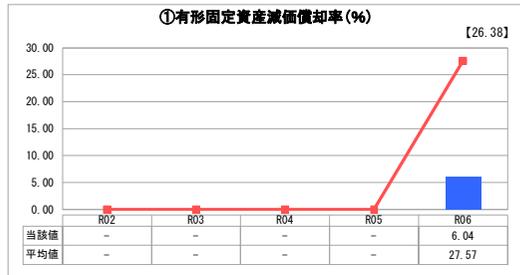
グラフ凡例

- 当該団体値 (当該値)
- 類似団体平均値 (平均値)
- 令和6年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

本来、料金収入で会計全体を賄う独立採算による経営が基本と考えますが、全体計画区域内の地域実情を勘案する中で、現状の料金収入のみで運営することは困難な状況であり、一般会計からの補助金収入に頼らざるを得ない状況です。

今後、経営改善に向け施設維持管理経費の更なる節減や、計画的な施設改修等に努めてまいります。汚水処理原価は、水洗化率が100%であるものの、類似団体より高い数値となっているため、維持管理経費の節減により汚水処理原価の改善に努めてまいります。

水洗化率は、今後も100%の水準が維持できるよう努めてまいります。

2. 老朽化の状況について

供用開始から18年が経過しており、今後改修等の必要な時期が到来することになります。

本年度末時点において、施設の大きな改修はありません。管路施設については、各個人による管理となります。

全体総括

本市の特定地域生活排水処理事業は、地域を限定した秋津川地域（1地区）で行っている事業です。会計については、令和6年4月1日より、地方公営企業法の一部を適用し、公営企業会計へ移行していることから、各指標は1年度分のみの数値となっております。

今後、人口減少や高齢化により、料金収入の大幅な増加は難しいと考えられるため、施設維持管理経費の更なる節減を図り、適正かつ必要最小限の管理に努めながら、地域の生活環境の向上を図り、経営の安定化に努めてまいります。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。